

## 5. 材料リサイクルの高度化に向けて “単一化・品質安定化・収率向上・高品質製品の開発”

### ■ 単一化

- ・PE、PP、PSそれぞれの代替品として利用可能な製品群が増加  
→日用品など消費者に身近な製品の原料へ

### ■ 品質安定化

- ・利用事業者の幅が広がる  
→品質のばらつきが減ることで利用が容易に

### ■ 収率向上

- ・PSペレット製造  
→硬質PSの有効利用
- ・容り材向けの添加材開発  
→容り材の汎用性の向上

### ■ 高品質製品の開発

- ・消費者の身近な製品  
→ごみ袋、レジ袋、エクステリア材など消費者に理解してもらいやすい製品へ

※材料リサイクルは発展途上にあり、現在上記のような高度化への取り組みが実践されている。材料リサイクルの量が減少することで、開発の停滞が懸念される

17

## 5. 材料リサイクルの高度化に向けて

- 材料リサイクルは、H12年のリサイクル法施行以降、10年かけて着実に成長しており、今後は、事業としての醸成が見込まれる。  
現状においても、様々な製品として利用されている。
- 現行制度の中でも関係主体との共創を築くことで、再商品化コストの低減、環境負荷の低減ポテンシャルが見込まれる。

18

## 6. 他主体へ協力をお願いしたいこと “市町村・容リ協会・国”

---

### ■市町村

- ・利用製品の利用啓発の協力
- ・ラップの混入回避の啓発
- ・申請量と実際引取り量の乖離の回避

### ■容リ協会

- ・市町村指定袋の異物扱いの回避
- ・利用製品の啓発活動
- ・引取り同意書追加業務の迅速化
- ・支払い収率基準の見直し

### ■国

- ・分別収集基準の全国統一化推進
- 

19

## 6. 他主体へ協力をお願いしたいこと “特定事業者・消費者”

---

### ■特定事業者

- ・PVC、PVDC製品の使用の抑制
- ・表記方法の改善
- ・選別しやすい複合材の開発
- ・上記の検討のための意見交換の場の設置

### ■消費者

- ・塩ビラップの混入回避
  - ・汚れ付着の多いものの回避
  - ・2重袋の回避
  - ・禁忌品の混入回避(医療系(注射針)、釣り針、ライター)
- 

20